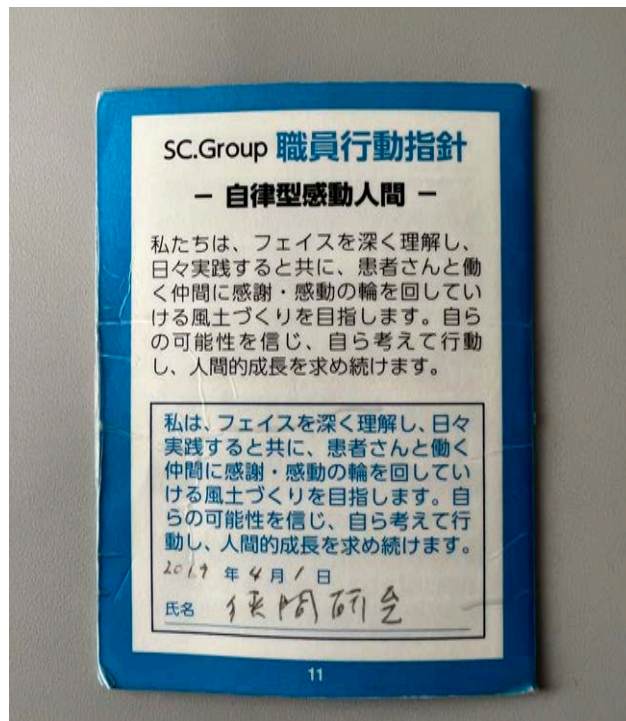


# しおんだより VOL.31



## 一人一人の行動の基準が揃うことが大切

当たり前のことですが、私たちそれぞれ、一人一人の考え方は同じではありません。そしてそれぞれに価値観も、正しさも違います。その一方で、集団や組織になると、価値観や正しさの基準が一致していないと、そのサービス内容はちぐはぐなものになってしまいます。

当院を含めて、医療機関では患者さんに良くなっていただく、という意味では共通の目標を持っています。当院でも200名を超えるスタッフが、患者さんや様々な医療・介護施設の方、行政の方などに接しています。毎日が忙しく流れていくなかで、それぞれの方との関わりや対応には、まだまだ気を配り切れていないところがあると感じます。

当院が名称を変更したころなのでもう6年ぐらい前ですが「この病院は、思温と名乗っているのではないのか!？」と当院の対応にお叱りをいただいたことがありました。やはり、職員一人一人が、こういった気持ちで職場に赴き、こういった思いで患者さんや周囲の方々と向き合うのかを考え、方向を揃えていくことが大切だと思います。

当院では2019年に、その気持ちを「FAITH」として小冊子にまとめて、毎朝、みんなで確認した後、仕事にかかっています。まだ4年ですが、もう4年という気がします。

毎朝の朝礼では、この小冊子をもとに、職員全員が、それぞれどうあるべきかを考え、行動に移していけるようにと考えています。

## より良い病院を目指し外来などのトイレを改装いたします



工事期間中は、皆様にはご不便をおかけします。綺麗なトイレになりますので、少しお待ち頂ければと思います。

良い病院になるには、スタッフのあり方やサービスのレベルというソフトを良くしていくことも大切ですが、設備や備品などのハードを良くしていくことも、それと同じぐらい大切です。

当院は、歴史のある(!?) たてものですが、数年前耐震性能をチェックしていただいても、基本的には問題なしということでした(この時期に建てられた建物はコンクリートがかなりしっかりしているそうです)。

それは、ありがたいことですが、やはり水回りなどは、どうしても…という感じでご不便をおかけしてきました。この度、外来の2つのトイレ、さらには、病院の管理エリアのトイレも綺麗に改装致します。工事中は、ご不便をおかけいたしますがご了承頂ければ幸いです。

## 基本的な感染対策は忘れずに、少しずつ戻っていきますね

ご案内のように、令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症が、5類感染症になりました。従来の2類感染症との分類が変わっただけで、ウィルスが無くなったわけでも、病原性や感染性が下がったわけでもありませんので、従来通りの感染対策の継続は必要ですが、外出自粛や濃厚接触者の行動制限などはなくなりますので、少しずつコロナ前に戻っていくことになりそうです。先日も、大阪・ミナミを歩いていましたが、外国の方もたくさんいらっやっていて、そういう時期が来たのだなと改めて感じたものです。



たくさんのだるまがあるなかで、1つだけ、色も形も異なるものが…。

そんなこともあり、先日、私の両親とお墓参りに行った帰り道、いつもは素通りする、箕面の勝尾寺というお寺に立ち寄りました。500円の入園料を払って中に入ると、あいにく山門は工事中でしたが、芍薬の花が満開でとても綺麗でした。また、このお寺は、だるまさんが有名で、おみくじもだるまの中に入っています。中身を見たあとのだるまが、庭園内には、いたるところにおいてあってかわいらしい感じでした。久しぶりにのんびりと散策しました。(文責：狭間研至)

しおんだより 第31号 発行日：令和5年5月15日

発行人：狭間研至 発行元：医療法人嘉健会 思温病院

☎557-0034 大阪市西成区松1-1-31 電話06-6657-3711 HP: [www.shion-hp.or.jp](http://www.shion-hp.or.jp)